

### Ⅲ 地場・観光産業の重点テーマ

1. 丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPR
2. 「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実
3. 滞在型観光の推進

## 1. 丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPR

### 1-1 本市の丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPRの現状

丸亀うちわは、主に手作業を中心に生産される竹うちわが、機械設備による大量生産が可能なポリ（プラスチック）うちわにシフトしました。その結果、工場数・従事者数が大幅に減少する一方、販売本数・販売金額は増加しています。現在では、本市で生産されるうちわの9割以上がポリうちわです。

なお、昭和38年における販売本数・販売金額は、竹うちわによるものでした。一方、近年の販売本数・販売金額のほとんどがポリうちわであることから、竹うちわの需要は大幅に低下したことになります。

#### ■うちわ実態調査

年度	工場数 (事業者)	従事者数 (人)	販売本数 (千本)	販売金額 (万円)
昭和38年	451	3,110	86,915	69,990
平成元年	102	927	73,250	293,677
平成10年	66	588	85,103	318,489
平成20年	39	382	116,869	346,418

(出所：「丸亀うちわの歴史」より作成)

青木石材の現状は、後継者不足、海外からの低価格品の流入等の厳しい経営環境の中、事業所数・従事者数・生産額が年々減少しています。

#### ■石材業の状況

年度	事業所数 (カ所)	従事者数 (人)	生産額 (百万円)
平成17年	21	60	310
平成19年	19	52	268
平成21年	15	45	256
平成23年	13	41	252

(出所：「丸亀市統計書」より作成)

地場産業の振興のためには、担い手の育成と生産体制の整備が必要です。特に丸亀うちわでは、製作技術の伝承と、中国に続く海外生産体制の確保が求められます。さらに、本市を象徴する地場産業として積極的なPRが必要です。

また、地場産業を教育題材として活用することで、地元愛の醸成が期待できます。

丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPRに関して、次の取り組みを行います。

(1) 丸亀うちわの製作技術の伝承

丸亀うちわの技術伝承や担い手不足を解消するために、技術・技法講座や資格認定等を行います。

(2) 丸亀うちわの常設展示館・物産館の整備

丸亀うちわを中心として、青木石等の地場産品や本市の物産等を市内外に広くPRするために丸亀うちわの常設展示館・物産館を整備します。

(3) 丸亀うちわの海外生産体制の整備

ラオスへの産業支援の一環として行っている丸亀うちわの技術指導を、将来的な丸亀うちわの海外生産体制の確保につなげます。

(4) 丸亀うちわの積極的なPR

本市の象徴的な地場産品である丸亀うちわを市内外に積極的にPRします。

(5) 教育による地元愛の醸成

丸亀うちわや青木石等を学習教材（体験や見学等）として活用してもらい、将来を担う子どもたちが本市地場産業を理解し、愛着や誇りを持てるようにします。

(6) 丸亀うちわ・青木石のブランド化

丸亀うちわと青木石のブランド化を積極的に推進します。

上記6項目を丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPRを実現するための施策とし、1-2に施策を実施するための取り組みを記載します。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 1-2 丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPRの取り組み

丸亀うちわ振興と積極的なPRのための6つの施策と具体的内容および推進主体、そして、施策を実現するための実施事業と実施スケジュールは次のとおりです。

施策と具体的内容、施策を推進する機関		
施策と具体的内容		推進主体
1. 丸亀うちわの製作技術の伝承	<p>(1) 技術の伝承を図るために丸亀うちわ技術・技法講座を開催する。</p> <p>(2) 丸亀うちわの全工程の技術・技法を身に付け、実際に製作に携わる人を「丸亀うちわニュー・マイスター（仮称）」として認証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県うちわ協同組合連合会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
2. 丸亀うちわの常設展示館・物産館の整備	<p>(1) 丸亀うちわの実演・製作体験を充実させる。ワークショップの製作体験コーナーを拡充する。</p> <p>(2) 博物館機能を充実し、展示の魅力を高める。</p> <p>(3) 技術・技法講座の研修及びその後の生産拠点として活用するとともに、本市の観光や文化の魅力を発信する総合的な機能をもたせる。</p> <p>(4) 丸亀うちわを中心とした本市物産の販売拠点を作る。</p> <p>(5) 長時間滞在できるように飲食スペースを充実させる。</p> <p>(6) 入館客の駐車スペースを確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県うちわ協同組合連合会</li> <li>・青木石材協同組合</li> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>

第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

施策を実現するための事業と実施スケジュール			
実施事業	H25	H26	H27～
① 丸亀うちわの技術・技法を継承するための講座の開催	継続	→	
② 「丸亀うちわニュー・マイスター認証制度(仮称)」創設と資格制度運営	実施	→	
① 施設コンセプトや運営に関する企画等検討	実施		
② 施設的设计および建築	実施		
③ 施設オープン		実施	

※継続・実施・検討等については、P29を参照のこと。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

施策と具体的内容、施策を推進する機関		
施策と具体的内容		推進主体
3. 丸亀うちわの海外生産体制の整備	(1) ラオスへの産業支援の一環として行っている技術指導が、将来的には丸亀うちわの海外生産体制の確保につなげられるようにする。	・ FUNFAN 実行委員会
4. 丸亀うちわの積極的なPR	(1) 各種イベント等でPRや実演販売、出張講座等を行う。 (2) 一目でうちわ＝丸亀と分かるような広報活動（表示や展示）を行う。	・ 香川県うちわ協同組合連合会 ・ 丸亀市観光協会 ・ 丸亀市
5. 教育による地元愛の醸成	(1) 丸亀うちわや青木石等を学習教材（体験や見学等）として活用してもらい、将来を担う子どもたちが本市地場産業を理解し、愛着や誇りを持てるようにする。	・ 香川県うちわ協同組合連合会 ・ 青木石材協同組合 ・ 地域組織（ボランティア等） ・ 丸亀市教育委員会 ・ 丸亀市
6. 丸亀うちわ・青木石のブランド化	(1) 丸亀うちわや青木石の高付加価値化を目指した取り組みを行う。	・ 香川県うちわ協同組合連合会 ・ 青木石材協同組合 ・ 丸亀市

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

施策を実現するための事業と実施スケジュール			
実施事業	H25	H26	H27～
① 海外での生産体制の調査	実施	→	
① 丸亀うちわをPRのためのイベント等へ出展	継続	→	
② 丸亀うちわを強く印象付けるための丸亀駅前等へのオブジェ・サインの整備		実施	→
① 学校等での丸亀うちわの製作体験	継続	→	
② 丸亀うちわ・青木石の生産現場への社会見学	継続	→	
① 丸亀うちわのブランド化の推進	継続	→	
② 青木石のブランド化の推進	継続	→	

※継続・実施・検討等については、P29を参照のこと。

## 2. 「港 - 駅 - 城」を核とした観光ルートの整備・充実

### 2-1 本市の「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実の現状

本市の観光客数の現状は次のとおりです。特に亀山公園（丸亀城）の観光客数が大きく増加しています。他にも本市には、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館・うちの港ミュージアム・本島・飯野山・綾歌三山（猫山、城山、大高見坊）等の魅力ある観光資源があります。さらにお城まつりや香川丸亀国際ハーフマラソン大会等の広域的なイベントも催されています。

■丸亀市の観光客数の推移（単位：千人）

	平成19年	平成23年
亀山公園	452	610
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	114	92
うちの港ミュージアム	22	27
本島	48	48

	平成19年	平成23年
桜まつり	136	136
丸亀お城まつり	243	195
まるがめ婆娑羅まつり	130	120
香川丸亀国際ハーフマラソン大会	79	103
桃喰うまつり	5	8
綾歌ふるさとまつり	5	10

（出所：「レクリエーション客数調べ（暦年）」より作成）

本市には日本一の石垣を持つ丸亀城や金毘羅街道等の観光資源、まるがめ婆娑羅まつり等の観光イベントがあり、観光客数は増加傾向にあります。

このような中で、今後も観光客の増加を図るためには、本市の中心である「港-駅-城」の観光資源の一層の活用とPRの充実が必要であり、特に本市の玄関口である丸亀駅前と中央商店街の景観整備が課題となっています。



「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実に関して、次の取り組みを行います。

(1) 魅力ある観光ルートの企画・紹介の充実

塩飽諸島や丸亀城等の「港-駅-城」を中心とした観光資源に、食や体験等を絡めた魅力的な観光開発を推進します。

(2) 広域観光ルートの企画

県・他市町と連携し、広域観光ルートの中に本市の観光スポットを組み入れる活動を行います。

(3) 文化・芸術による活性化

瀬戸内国際芸術祭や丸亀市猪熊弦一郎現代美術館等の文化・芸術面の観光資源を活かした観光振興を図ります。

(4) 金毘羅街道の整備とPR

金毘羅街道の整備を推進するとともに、市内外に積極的なPRを行います。

(5) 駅前・中央商店街の景観整備

JR丸亀駅前、中央商店街の景観整備を推進し、本市の玄関口としてふさわしいイメージづくりを行います。

上記5項目を「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実を実現するための施策とし、2-2に施策を実施するための取り組みを記載します。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 2-2 「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実の取り組み

「港-駅-城」を核とした観光ルートの整備・充実のための5つの施策と具体的内容および推進主体、そして、施策を実現するための実施事業と実施スケジュールは次のとおりです。

施策と具体的内容、施策を推進する機関		
施策と具体的内容		推進主体
1. 魅力ある観光ルートの企画・紹介の充実	(1) 塩飽諸島、丸亀城、飯野山等の観光資源と骨付鳥やうどん等の食を絡めた魅力的な観光ルートを開発する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
2. 広域観光ルートの企画	(1) 中讃地域の関係市町及び関係団体、香川県・岡山県の瀬戸内沿岸の市町と共同により広域観光ルートの開発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
3. 文化・芸術による活性化	(1) 瀬戸内国際芸術祭を活用し、塩飽諸島をPRする。 (2) 美術大学生による島での創作活動を支援する。 (3) 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館への来場者数を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市福祉事業団</li> <li>・ミモカ美術振興財団</li> <li>・丸亀市文化協会</li> <li>・丸亀市文化振興事業協議会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
4. 金毘羅街道の整備とPR	(1) 金毘羅街道のカラー舗装や掲示板等の整備を進めるとともに、積極的なPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんぴらさんへの道しるべ協議会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
5. 駅前・中央商店街の景観整備	(1) 駅前から中央商店街の通行量を増加させるために、景観等の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市中央商店街振興組合連合会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市</li> </ul>

#### 広域観光ルートの開発

中讃地域の関係市町及び関係団体により「さぬき瀬戸大橋広域観光協議会」を、香川県・岡山県の瀬戸内沿岸の市町により「備讃瀬戸観光協議会」を構成し、広域観光ルートの開発に取り組んでいます。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

施策を実現するための事業と実施スケジュール			
実施事業	H25	H26	H27～
① 魅力ある観光資源の発掘	実施	→	→
② 観光資源を組み合わせた観光ルートの開発	実施	→	→
③ 観光資源・観光ルートのPR活動の充実	継続	→	→
① 市外の観光資源と組み合わせた観光ルートの開発とPRの充実	継続	→	→
① 塩飽諸島と丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の活性化検討・事業展開	継続	→	→
② 島民との交流の中での創作活動を支援	継続	→	→
① 金毘羅街道の整備と観光資源としてのPRの充実	継続	→	→
① 駅前および中央商店街の景観整備方針の検討		検討	→

※継続・実施・検討等については、P29を参照のこと。

### 3. 滞在型観光の推進

#### 3-1 本市の滞在型観光の推進の現状

本市の観光客数は約250万人であり、うち宿泊客数は約33万人です。宿泊客数が近年増加しているのは、NEW レオマワールドのオープンが主な要因です。中心市街地の宿泊施設の宿泊数は微増に留まっており、中心市街地の宿泊施設の稼働率は約40%です。

本市の観光客に占める宿泊客の割合は約13%であり、ほとんどが日帰り観光の通過型観光です。

#### 通過型観光

通過型観光とは、日帰り、もしくは他の観光地で宿泊する途中で立ち寄る観光（地）です。

#### ■本市の観光客数（千人）

	観光施設	観光イベント	合計
平成21年	1,783	704	2,487
平成22年	1,790	660	2,450
平成23年	1,914	618	2,532

（出所：「レクリエーション客数調べ（暦年）」より作成）

#### ■宿泊者数の推移（人）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
宿泊者数	186,005	279,894	332,934

※平成23年度の宿泊数は推計値を使用

（出所：「丸亀市ホテル宿泊者数」より作成）

通過型観光よりも宿泊を伴う滞在型観光を推進することで、大きな経済効果が期待できます。滞在型観光を志向するためには、観光資源の開発と宿泊客の誘致活動の充実が必要です。

観光開発では、本市らしい観光資源の開発により、観光客に本市に来てもらう理由を提供しなければなりません。そのためには、本市でしか味わえない食や体験を積極的に提供する必要があります。

滞在型観光の推進に関して、次の取り組みを行います。

(1) 滞在型観光資源の開発

観光客の本市への宿泊を促進できる観光資源の開発とPRを行います。

(2) 宿泊客の誘致

修学旅行等の団体向けのPRを強化し、宿泊客の増加を図ります。

(3) 広域観光ルートの活用

観光客を増加させるために瀬戸内エリア等の広域観光ルートを活用します。

(4) 体験型観光資源の育成と活用

本市ならではの食（骨付鳥）や体験（うちわ製作体験）等を観光資源として活用します。

(5) イベントの開催

特色あるイベントを開催し、県内外からの観光客の増加を図ります。

上記5項目を滞在型観光の推進を実現するため施策とし、3-2に施策を実施するための取り組みを記載します。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 3-2 滞在型観光の推進の取り組み

滞在型観光の推進の5つの施策と具体的内容および推進主体、そして、施策を実現するための実施事業と実施スケジュールは次のとおりです。

施策と具体的内容、施策を推進する機関		
施策と具体的内容		推進主体
1. 滞在型観光資源の開発	(1) 本市への宿泊を促進するための観光資源の開発やPR活動を強化する。他の観光と連携して滞在につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
2. 宿泊客の誘致	(1) 修学旅行やコンベンション等を誘致し、宿泊客を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
3. 広域観光ルートの活用	(1) 瀬戸内エリア、四国、香川県等の広域観光エリアを活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
4. 体験型観光資源の育成と活用	(1) 丸亀ならではの食や体験を観光資源として積極的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>
5. イベントの開催	(1) 特色を生かしたイベントを開催し、観光客の増加や宿泊客の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀商工会議所</li> <li>・丸亀市飯綾商工会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>

第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

施策を実現するための事業と実施スケジュール			
実施事業	H25	H26	H27～
① 観光客満足度の高い滞在型観光資源開発	実施	→	
② 県外へのPR活動の充実	継続	→	
① 宿泊助成制度を含めたPR活動の充実	継続	→	
① 県外へのPR活動の充実	継続	→	
① 体験型観光資源の企画・開発	継続	→	
② 市外・県外へのPR活動の充実	継続	→	
① 本市への集客力を高めるイベントの企画・運営		実施	→

※継続・実施・検討等については、P29を参照のこと。

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 地場・観光産業の重点テーマにおける評価基準（数値目標）

地場・観光産業の重点テーマにおける評価基準は次のとおりです。評価は下記の評価基準を元に丸亀市産業振興推進会議が行い、達成度等を踏まえ必要な是正措置を講じます。

評価指標	基準値 (H23)	H29	該当する 重点テーマ
竹うちわ技術講座を修了した者の うち製作に携わっている人数（人）	15	20	・丸亀うちわ等の地場産業の 振興と積極的なPR
展示物産館の来場者数 （万人）	—	10	・丸亀うちわ等の地場産業の 振興と積極的なPR
観光客数 （万人）	191	200	・「港-駅-城」を核とした 観光ルートの整備・充実
丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館来場者数（万人）	9	10	・「港-駅-城」を核とした 観光ルートの整備・充実
本市全体の宿泊客数 （万人）	33	40	・滞在型観光の推進
宿泊客数のうち中心市街地に立地 する宿泊施設等への宿泊客数（万人）	16	20	・滞在型観光の推進



### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### ＜地場・観光産業の支援施策等＞

地場・観光産業の重点テーマの実施において活用可能な国・県・本市の支援施策および事業は以下のとおりです。なお、必要に応じて、同一事業を再掲しています。

※各事業については概要を記しています。詳細は主な推進主体にお問い合わせください。なお、本支援策等は平成 24 年 4 月現在のものであり、制度等の変更により記載と異なる場合があります。

#### 1. 丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的な PR に関する支援策（1）

事業名	事業の概要	主な推進主体	該当施策
地場産業 振興事業	国の伝統的工芸品丸亀うちわや青木石など地場産業を支援。	・丸亀市	
丸亀うちわ ニュー・マイ スター認定制 度（仮称）	竹うちわの全工程の技術・技法を身に付け、実際に相当の技術を持って丸亀うちわづくりに携わる人を「丸亀うちわニュー・マイスター（仮称）」として認定。	・香川県うちわ協同 組合連合会 ・丸亀市	丸亀うちわの 技術伝承
うちわの常設 展示館・物産 館の整備事業	港のうちわミュージアムの機能を移転・充実させ、本市の中核的な観光拠点とすることにより、観光活性化を総合的に支援。	・香川県うちわ協同 組合連合会 ・丸亀市観光協会 ・丸亀市	うちわの常設 展示館・物産館 の整備
丸亀うちわ 海外技術移転 事業	ラオスに丸亀うちわの製作技術・技法を指導することにより、竹加工品の開発支援を図るとともに、将来的な生産拠点確保の可能性を調査。	・FUNFAN 実行委員会	竹うちわの海 外生産体制整 備の推進
丸亀ブランド 化推進事業 【再掲】	『せとうち旬彩館』において、丸亀ブランドを PR することにより、特産品の販路拡大や本市の知名度の向上。	・香川県うちわ協同 組合連合会 ・丸亀市	丸亀うちわの 積極的な PR
うちわ次世代 承継事業	うちわの製作方法や伝統を次世代に伝えるために出前講座等を実施。	・香川県うちわ協同 組合連合会	教育による 地元愛の醸成

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 1. 丸亀うちわ等の地場産業の振興と積極的なPRに関する支援策（2）

事業名	事業の概要	主な推進主体	該当施策
地域ブランド開発事業	丸亀独自のイメージを生かした商品等を丸亀ブランドとして創り出し、情報発信していくことで丸亀をPR。	・丸亀市	丸亀うちわ・青木石のブランド化
地域企業研究開発小規模助成事業（地域資源活用枠）	研究開発などに必要な経費を助成。	・かがわ産業支援財団	
特定地場産業活性化ブランド確立支援事業	デザイン開発等により地場産品等のブランドを確立する事業に要する経費の一部を助成。	・かがわ産業支援財団	
県外見本市出展支援事業	自社で開発した新製品等を国内見本市に出展する場合の経費を助成。	・かがわ産業支援財団	

#### 2. 「港・駅・城」を核とした観光ルートの整備・充実に関する支援策

事業名	事業の概要	主な推進主体	該当施策
定住自立圏構想	地方圏への人の流れを作り出すために中心部と周辺の市町がそれぞれの魅力を活用し、安心して暮らせる地域、魅力ある地域を形成。	・丸亀市他	魅力ある観光ルートの企画 ・紹介の充実
			広域観光ルートの企画
HOT サンドルプロジェクト	美大生が島に滞在し、島民との地域交流のなかで作品の創作活動を行うことを支援。	・丸亀市他 ・HOT サンドルプロジェクト 実行委員会	文化・芸術による活性化
金毘羅街道活性化プロジェクト	まち歩き事業等により金比羅街道を活用した観光客を誘致。	・丸亀市	金毘羅街道の整備とPR
駅前等景観整備事業	駅前の景観整備を実施。	・丸亀市	駅前・商店街の景観整備

### 第3章 産業別重点テーマと実施計画【地場・観光産業の重点テーマ】

#### 3. 滞在型観光の推進に関する支援策

事業名	事業の概要	主な推進主体	該当施策
宿泊助成制度	宿泊を伴う団体旅行や食事を伴う日帰旅行、宿泊を伴う大規模な会議等に対し一定額を助成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>	宿泊客の誘致
全力鶏プロジェクト	丸亀の食文化の代表である『骨付鳥』を丸亀ブランドとしてイベント、メディアを通じて全国に向けて情報発信。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市観光協会</li> <li>・丸亀市</li> </ul>	体験型観光資源の育成と活用

